

分野名：学社連携・融合

子ども達の自立的態度や協力的態度などの社会性を育む

築上町中央公民館【公立公民館】

館長 奥村 一生

1. 事業名

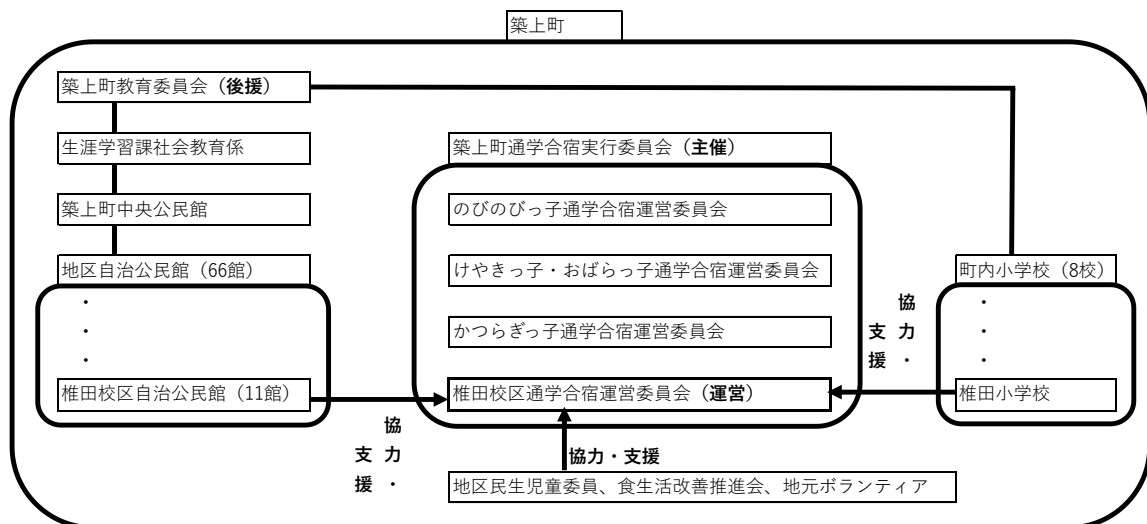
令和元年度 椎田校区通学合宿

2. 事業の目的

子ども達の自立的態度や協力的態度などの社会性を育み、たくましく生きる力を伸ばす

3. 事業の主体

主催：築上町通学合宿実行委員会 運営：椎田校区通学合宿運営委員会



4. 連携・協力機関・団体等

後援：築上町教育委員会（生涯学習課社会教育係、築上町中央公民館）

協力・支援：椎田小学校（学校、PTA）、椎田校区自治公民館（11館）、
地区民生児童委員、食生活改善推進会、地元ボランティア等

5. 事業予算

椎田校区通学合宿予算・・・300,000円

内訳・・・参加費 150,000円（5,000円×30人）、補助金 150,000円

6. 実施に至る経緯

平成 18 年に市町村合併で、旧椎田町と旧築城町の 2 町が合併し築上町となったが、それ以前より両町で小学生の通学合宿を行っており、椎田校区においても、例年開催し、令和元年度が 18 回目となる。中央公民館が会場となっており、中央公民館長も運営委員として、通学合宿開始当初より関わっている。

7. 事業の内容

(1) 基本内容

対象：椎田小学校の 5・6 年生 84 名（男子 44 名、女子 40 名）

30 名を上限に募集をかけ、23 名（男子 8 名、女子 15 名）が参加

合宿場所：築上町中央公民館

日時：日曜日 13 時から土曜日 12 時までの 6 泊 7 日

① 夕食・朝食・掃除（夕・朝）

全体を 4 つの班（A・B・C・D）に分け、担当を変更しながら、調理班を 2 班（例、A・B）、掃除班を 2 班（例、1 階 C・2 階 D）というように分かれて、指導者より指導を受けながら、調理班は、身支度し、準備を行い、包丁や火の使用に気を付け調理配膳、片付けまでを行い、掃除班は、食事室、学習室、トイレなど場所の分担を話し合い、掃除を行った。

② 学習

決められた時間で宿題が終わるよう集中し、私語を慎み他人の迷惑にならないよう行った。

③ 入浴（もらい湯）

合宿場所に風呂がないため、地域の一般家庭に協力いただき、3 名を 1 班で 30 分程度の入浴で行い、その際のマナーを学び、地域の人との触れ合いを楽しんだ。

※. 一般家庭だけでは全てを賄えず、福祉施設の大浴場もお借りした。

④ 洗濯

洗濯ネットに入れ、男女別に割り当てられた洗濯機で全員分を洗濯した。

洗濯機の使い方、干し方、取り込み方、たたみ方などを学んだ。

⑤ 班会議・夜のつどい・日記帳の記入・朝のつどい

洗濯をしている時間に班長会議や班会議を行った。

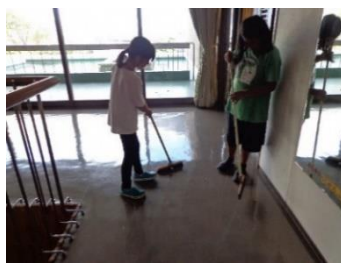
夜のつどいでは、体調確認、一日の反省、気づいたことの話し合いを行った。

日記帳と体調確認シートを記入し、指導者に提出した。

朝のつどいでは、体調確認、当番の確認を行った。

⑥ 就寝・起床・登下校

翌日の準備を整え 21 時 30 分に就寝、各自目覚ましで 5 時 45 分に起床し、班ごとに徒歩で登下校を行った。





(2) イベント

① 体験活動（ニュースポーツ）

パラリンピックの種目にもなっている、ボッチャを体験した。

② 思い出づくり（消防体験）

消防署に協力をいただき、放水体験・煙の中の移動体験などを行った。

8. 事業の成果

○参加児童の感想としては、ふつう 13%、良かった 39%、大変良かった 48%と悪い意見がなく好評で、「また来たい」との意見も多く、「家で料理をしよう」、「手伝いをしよう」、「あいさつができるようになった」などの意見があり、自立的態度の向上がみられた。「料理をみんなで作るからよかった」、「新しい友達が出来た」、「運営やボランティアの方に感謝している」などの意見があり、協力的態度の向上がみられた。

○保護者の感想としては、良かった 33%、たいへん良かった 67%と好評で、「手伝いをするようになった」「自分のことは自分でするようになった」などの意見が多くあり、良い体験をさせてもらえたなど、運営への感謝の言葉も多くありました。

○もらい湯先の方からは、後日に町で見かけた子供から、「声をかけられてうれしかった」、指導者からも、「道で会っても、よく挨拶をしてくれるようになった」など挨拶が良くなったとの意見が多く聞かれ、社会性の向上がみられた。

○中央公民館が通学合宿の会場として、また中央公民館長が運営委員として学校や自治公民館と連携し関わっていくことで、学校の目指している子どもの姿を共有することができ、地域の公民館としての今後の関わりの方向性を得ることができた。また、自治公民館との関りが深くなり、連携がしやすくなった。

9. 今後の課題

○指導者が少なく、一人当たりの負担が増えている。多くの人員を確保するように、自治公民館とともに、地域に呼びかけていきたい。

○もともと自治公民館長が主体となり行ってきたが、継続が難しくなってきたので、中央公民館が、それぞれの機関の橋渡しとなり連携していくことで、継続的な実施ができるようにしたい。

10. 問合せ先

〒829 - 0331 福岡県築上郡築上町大字高塚 756

築上町中央公民館

TEL : 0930-56-0251 FAX : 0930-56-0376

E-mail : chukou@town.chikujo.fukuoka.jp